



MARIANISTES

—— マリアニスト ——

上にあるものを求めなさい

汚れなきマリア修道会 Sr.田中昌子

「あなた方は、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい」(コロサイ3章1節)

復活祭を迎える毎に聞く使徒パウロのこの言葉は、私の心にいつも痛く響きます。

私は、教会の“入門講座”を担当していますので、一年間の稔りをいただくこの時期がとても怖いのです。

“実り”をくださるのは神様なのだという体験を幾度もしていますのに、その年の受洗者の数がまるで自分の責任でもあるかのように、こだわっているのです。また、幸い受洗なさる方が多い時にいただく神父様のお言葉や、皆さんの褒め言葉が非常に心地よく聞こえてしまうのです。その度に、「違う、違う、これは“恵み”がなされたことなのだ」と心の中で言い続けます。「上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれないように」とのパウロの言葉(コロサイ3~2)に気付きます。

このように、上のことを求めながら、下のことにも引かれてしまう私に、一人の若者がさわやかな風を送ってくれました。

彼は私立高校の3年生です。幼児洗礼を受けていますが、ミサよりも好きなことの方に心も足も向いてしまう子です。好きなことだけを熱心にする彼の生き方に、大人たちは小言を言いました。心配だったので。

その彼が、何かを感じて、年末に開かれていた“派遣村”に飛び込んで行ったそう

です。若い体力を使って毎日雑用をこなしていただけでしたが、彼はその中で、“職も住居も同時に失ってしまった方たち”の状況を知りました。また、自分の無力さにも直面しました。それからの彼は、突き動かされたかのように大学受験に向かって勉強し始めたのです。

彼は母親に言ったそうです。

「僕は自分のミッションを見つけたんだ。勉強して弁護士になって、派遣村にいたあの小父さんたちの手伝いがしたいんだ」と。今、彼は人が変わったかのように生き生きと勉強に励んでいるようです。

私はふと、「福音宣教」誌に書かれた本田哲郎神父様の言葉を思い出しました。

「私たちは、聖書の教えが『隣人(すなわち社会的弱者)を自分自身のように大切にみなさい』の一言に要約されることを知っています。しかし、人は知識やたてまえだけではなかなか行動に移れるものではありません。私たちを踏み切らせてくれるのは『はらわたをつき動かされる』痛みの共感です。イエスはこのことを身をもって明らかにしています。」(2005年4月号)

私は思います。彼は知らず知らずのうちにパウロの言う「上にあるもの」を求めていたのではないのでしょうか。

私も「キリストと共に復活させられたのですから」、日々の生活の中で「上にあるもの」を求め続けていきたいと、ひたすら願っております。

海外だより

インド及びアフリカにおける「汚れなきマリア修道会」の活動の一部を、送られてきた『Echos』紙からご紹介します。



インド

シスター方が運営に当たっておられるセンターの子ども達。



Fr. Alfonso Ekka が「マリア会」のために寄贈した土地と「汚れなきマリア会」が診療所とコミュニティーハウスを建てるために選ばれた土地を訪れた一行。



アフリカ



Togo に「マリアニスト」共同体が置かれて50年目を祝う横断幕と基礎を築いたブラザー方の記念碑。



韓国巡礼・・・その4・・・

ジナ・チェリ 古畑久美子

カルメモ巡礼地の聖堂内は、見事なまでの演出がなされていて、韓国司教団の力の大きさ、そして何よりそれを支える信徒の力の大きさ強さ、信仰の深さを知りました。私に何が出来るのですか？何をすればよいのですか？今出来るのは祈るだけです。それでいいのですか？と何度も繰り返し尋ねる私がそこにいました。そっとやさしくこちらを見つめるマリア様が居てくださりホッとした思いでした。

その後、南楊聖母聖地へ。ここは、一抱えもある石がロザリオとなり、敷地を一周しています。偶然にも、地形はウラジミルの生神女のイコンと同じになっていました。設計図も引かず、なすがままに山を切り開き、祈りと共に造り上げた聖母聖地は、神の計らいにより聖母子の姿に形どられたとのことでした。祈りを捧げる多くの人が集まっているにもかかわらず、この地の静けさは、聖母マリアの心の深さによるもののように思えてなりません。大きな石のロザリオを巡るとき、母なるマリアに抱かれているかのような心安らぐ、暖かな安堵感を覚えました。

次に砂南基聖地に向かいました。韓国の伝統的な建物が教会になっています。ここに着いたときには夕方になっていました。にもかかわらず、私たちのために記念館を開けてくださり、殉教の歴史のCDを見せて下さいました。教会の方々の親切に心打たれました。マリア像も韓国の民族衣装を纏っていました。祭壇の中央には聖櫃が置かれ、そこには国花の「むくげ」が刻まれていました。



砂南基聖地

連載 マリアへの奉獻 (7)

《聖母マリアの奉獻》 (つづき 7)

マリア会司祭 富来 正博

キリスト者の基本的奉獻である洗礼によって、私たちはキリストと一致します。「わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それはキリストがおん父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい生命に生きるためなのです。もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。」(ローマ6章4節5節)

このようにして私たちは洗礼によってキリストの命に生かされるものとなり、聖なるものとされます。しかし洗礼は私たちに個人としての救いを保障するだけでなく、さらに偉大な使命に招くものです。キリストご自身、そしてマリアの存在が人類の救いのためであったように、キリストと一致した私たちの存在も、兄弟姉妹の救いのための存在となるのです。第二バチカン公会議の教会憲章には次のように説明されています。「洗礼を受けた者は、再生と聖霊の塗油とによって、霊的な家および聖なる司祭職となるよう聖別されるのであって、それはかれらがキリスト信者のあらゆるわざを通して霊的いけにえを捧げ、やみからご自分の感嘆すべき光へとかれらと呼ばれたもうた方の力を告げるものとなるためである。したがって、キリストの弟子たる者は皆、くじけずに祈り、ともに神を賛美しつつ、みずからを神によみされる聖なる生けるいけにえとして捧げて、あらゆるところにおいてキリストについてのあかしをなし、尋ねる人に対しては自分たちの中にある永遠の生命の希望について解明しなければならない。」(教会憲章、10)

私たちの神への奉獻には以上のような要素が含まれているということを思い起こしましょう。そしてまさにマリアの中にその典型的な姿を見出すことも。

「ケノーシス」に生きる

日本MLC会長 川口 洋

3月25日の「神のお告げ」の祝日を選んで、東京のイグナチオ教会でヘルマン・ホイベルス神父様が私に洗礼を授けてくださってから45年間、常に導き支えてくださった聖母マリア様、その方に奉獻された共同体の代表者に今回選出されましたことは、神の計り知れないお計らいがあったと、思わざるをえません。

また私が高齢と闘病という二重苦にもかかわらず、お引き受けすることにいたしましたのは、聖母への感謝の念と聖パウロの励ましの言葉に基づくものです。パウロは「フィリピン人への手紙」の中でキリストの秘儀「ケノーシス」、つまり「愛によって自分自身を無にすること」(第2章)を指摘し、さらにキリスト者にふさわしい生活への勧めとして特に「何事も、不平を言ったり理屈をこねたりしないで行いなさい」と述べております。まして私の場合が神のみ旨であるならば、神にお任せすることにいたしたく思いおります。

私はこのケノーシスの志を会員の皆様にも共有していただき、他の3枝の家族と力をあわせて、特に御子と聖母のお導きを頂きつつ、我々に課せられた使命を微力ながら果たしてゆく所存です。どうぞ皆様にご理解頂き、宜しくお願い申しあげます。

● マリアニスト ● 奉獻生活の説明会

下記のとおり説明会を開きます。ご都合のよい方にご参加ください。

対象：カトリック信者の独身女性(45歳まで)

① 6月13日(土) 14:00~16:00

町田修道院

〒194-0032 町田市本町田 3050-1

電話 042-722-6301 / FAX 042-725-6317

② 6月14日(日) 14:00~16:00

調布修道院

〒182-0016 調布市須佐町 5-28-5

電話 042-483-3525 / FAX 042-480-3881

申込：6月10日(水)までに下記へ。

電話 042-483-3525 (担当者)

e-mail marianist@marianist.jp

お知らせ

信徒のための黙想会

日時：2009年6月20日（土）16:00
～21日（日）16:00

場所：汚れなきマリア修道会
町田黙想の家

テーマ：“信じる人は幸い”
指導：朝山宗路神父（マリア会）

費用：5500円

申込み：町田修道院 S r . 高尾

Tel 042(722)6301

Fax 042(725)6317



編集後記

イエス・キリストの過越に与るため、四旬節を静かに過ごし、そして春分の後のご復活を祝って過ごして参りましたが、皆さまには如何お過ごしになられたでしょうか。よくその時期の風や草いきれに、以前のことを思い出す時がありますが、今年の丁度今頃、「マリアニスト」の編集部に入れて頂きました。足を引っ張ってはいけないと、恐る恐る出席したのですが、編集長ご夫妻はじめ皆様方とても明るく、お話を伺いつつ仕事をするのですが、なんの苦もなく楽しく一年が過ぎてしまいました。このような和やかな集まりが、長く続いてくれたらと、しみじみ思いました。

5月はマリア様を思う聖母月。そして、イエズス様に感謝して過ごす6月。皆さまと共に愛を深めて祈りの日を過ごして参りたいと思います。

(Y. S.)

MLC総会

日時：2009年5月30日（土）

10:45～ 受付

会場：シャミナード修道院2F大会議室

11:00～ 総会

12:15～ 昼食、休憩

13:30～ 講話

テーマ 「MLCについて」

講師 富来正博神父様

14:30～ ミサ

司式 富来正博神父様

*奉献者で総会欠席の方は、委任状を提出してください。

*昼食にお弁当をご希望の方は、所属の共同体の代表者を通してお申し込みください。

代表者の方は、数をまとめて、坂野副会長までご連絡ください。

申込み締切・・・5月20日（水）

祈りのひととき

一日の仕事を終え、心も体もほっとして家路につくひととき、月に一度足を向けてみませんか？ご聖体の前で沈黙のうちに祈り、自分を振り返る静かなひとときです。遅刻も途中参加も可能です。

毎月・第3水曜日（8月はお休み）

午後7:30～8:30

会場はマリア会・

シャミナード修道院聖堂

担当は清水一男神父様

問い合わせはシスター小林

（電話：08058736637）

発行 『マリアニスト』編集部

気付 「汚れなきマリア修道会」

町田修道院 清水一男神父

〒194-0032

東京都町田市本町田3050-1

TEL 042(722)6301

FAX 042(725)6317

HP: <http://www.marianist.jp/>